

平成 30 年 6 月 15 日

公益社団法人日本技術士会 原子力・放射線部会
平成 30 年度全体会議 議事録

日時 : 平成 30 年 6 月 15 日 (金) 13:00~14:45

場所 : 日本技術士会 機械振興会館 6 階 6-66 会議室

議題 :

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告および平成 30 年度事業計画 (案) について

第 2 号議案 平成 29 年度決算報告および平成 30 年度予算計画 (案) について

第 3 号議案 部会規約改正の件

その他、連絡事項と意見交換

配布資料 :

1. 平成 29 年度事業報告および平成 30 年度事業計画 (案)

2. 平成 29 年度決算報告および平成 30 年度予算計画 (案)

3. 原子力・放射線部会の規約改正 (案)

3. 平成 30 年度部会幹事体制 (案)

4. 意見交換会資料

議事内容 :

1. 開会宣言 司会 (勝田 副部会長)

勝田副部会長より、第 14 回全体会議の開会宣言がなされた。

2. 挨拶 佐々木 部会長

部会発足 14 年になるが、「技術士」の本来あるべき姿を自覚し、それに向かって進みつつ、信頼される技術者として認知される活動を意識してきている。その考え方に基づく活動について背景を含めてご説明し、規約改正の議論を踏まえ、最後には意見交換会を予定していること等の紹介があった。

3. 出席者報告

13 時 5 分現在で出席者数は 25 名、委任状は 112 名(前日までの提出者数)、合計 137 名(部会員総数 249 名)であり、部会規約第 14 条第 1 号「部会員 1/2 以上 (委任を含む) で成立」の規定により、本会議は成立する旨が報告された。

なお、最終的には出席者数は 26 名、委任状は 115 名となった。(参加者は別紙を参照)

4. 議長、書記、議事録署名人選任

議長は部会運営規則により佐々木部会長とし、

議長より書記に和田幹事、議事録署名人に桑江相談役が選任された。

5. 議事

5. 1 議事内容

各々の議案の説明は、(1)は芳中 副部長、(2)は丸下 幹事、(3)は勝田 副部長が務めた。

(1) 第1号議案：平成29年度事業報告および平成30年度事業計画（案）

芳中副部長より、配布資料に基づき説明があった。部会としては技術士がいきいきと活躍すること、原子力界の健全化を図ることの実現に向けて何が必要か、部会として何ができるかを考えながら進めている。平成29年度は、社会ニーズにマッチした学び直しに係る企画運営、部会員の積極的な参加促進、HPや部会報による部会活動の情報発信、ターゲットに応じた認知度の向上活動、本部委員会との連携強化等に取り組んできた。各活動にあたって課題があり、平成30年度はその改善に取り組んでいくとの説明があった。

(2) 第2号議案：平成29年度決算報告および平成30年度予算計画（案）

丸下幹事より、配布資料に基づき説明があった。

① 収入と支出は、平成29年度の予算額が1,520千円に対し、決算額は1,364千円となった。会場からの質問に対して、今回の会計監査を任された大橋部会員より、収支等を確認した結果報告通りで問題なかったこと、予算額と決算額の違いは不合理なものではなく節約努力によるものであることを会計担当に確認したとの説明があった。

② 会計の透明性を向上するために従来からの懇親会費の収入・支出の考え方を換え、昨年度まで雑収入として計上して会合費として支出したものを、今年度からは会合費は別の会計とすることにしたとの説明があった。

③ なお、配布資料とHP掲載の2018年度予算案の前年実績の雑収入は訂正前のものであるため、用語の修正（助成金を補助金に修正）を含め、後日、HPに修正版を掲載するとの説明があった。

(3) 第3号議案：部会規約改正の件

勝田 副部長より、配布資料に基づき規約改正（案）の発議と説明があった。

① 変更内容は技術士会住所（第1条の2）、会計幹事の新設（第5条～第8条）、部会長の選任方法の見直し（第6条）、全体会議が成立する定足数の見直し（部会員の2分の1以上から5分の1以上の出席者（委任を含む））（第14条）、経費の支出への例外事項の追加（第19条の2）および附則の追加等である。

② 会場より全体会議が成立する定足数および採決の議決数に関する確認と質問があり、議長他より説明があった。充足数を出席者の1/5とする根拠は、他部会の規定例や弁護士の見地で、1/10でも定足数になり得ることが明らかとなったことを踏まえ、幹事だけで充足数に至らないことに配慮したものであるとの説明があった。また、委任手続き者が少ないことの対策として、Web上の委任手続き簡素化の提案があった。

③ 会場より監査人の選任を規定に明記すべきとのコメントがあった。議論の結果、今回は現行の体制下で部会長が指名した特定の部会員に監査を依頼する形式での承認とするが、現状では規定に監査人の選任に係る記載がない状況なので、本全体会議で

は、今後、規約の見直しを検討することを付帯決議として、原案のまま採決することとなった。

5. 2 議案の採決

上記5. 1の(1)、(2)および今後の監査人の選任に係る規定の見直し検討を付帯決議とした(3)について出席者に賛否が諮られ、過半数より拍手承認がなされた。

5. 3 その他、連絡事項と意見交換

(1) 連絡事項(平成30年度部会幹事体制)

佐々木 部会長より平成30年度の幹事・会計幹事の委嘱と役割について説明があった。また、現状のHPでは幹事とS幹事が同一表内に記載されているが(配布資料)主に受験指導への関与の誤解を避けるために、S幹事は幹事を掲載する表とは記載を別にする旨の説明があった。幹事・会計幹事の委嘱と役割について拍手承認がなされた

(2) 意見交換(事前アンケートの集計結果)

勝田 副部会長より、全体会議案内状の事前アンケートの集計結果の報告があった。

6. 閉会宣言

勝田 副部会長より、第14回全体会議の閉会宣言がなされた。

以上

.....
この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成30年7月10日

議事録署名人

桑江良明 印



平成 30 年度全体会議 参加者名簿

(順不同、敬称略)

	氏 名
出席者	青木 照美、青山敬、阿部定好（スカイプ参加で登録）、天田 佳孝、大橋 正雄、笠井重夫、勝田 昌治、菊池 裕彦、桑江 良明、小宮 雅男、 齊藤 勇、坂本 浩幸、佐々木 聡、菅原 聡、曾佐 豊、園田 幸夫、中村 晃、畑 孝也、浜崎 学、原田 晃男、 丸下 元治、山田 基幸、山田 裕之、横堀 仁、芳中 一行、和田 隆太郎 小計：26名
委任状提出者	浅野 芳裕、東 徹、網野 真樹、栗野 信哉、家田 芳明、井口 幸弘、石川 寛匡、石田 倫彦、泉 幹雄、板津 英輔、 市川 禎和、伊藤 公雄、伊藤 元、伊藤 幸司、伊藤 貴司、伊藤 甫、伊藤 晴夫、伊藤 友加里、伊藤 裕、井上 浩、 井上 賢紀、今本 信雄、上田 清隆、上野 修一、内田 剛志、大西 祥作、岡村 章、小川 和彦、押立 貴志、小野寺 徹、 小丸 修、笠井 巖、笠原 茂樹、梶谷 博康、金子 浩久、神谷 栄世、川上 尚志、川辺 睦、君和田 俊裕、熊谷 守、 栗原 良一、久保田 信利、小泉 務、河野 繁宏、河野 恭彦、後藤 廣、近藤 義昭、榊 勲、佐川 渉、佐久間 均、櫻井 俊吾、 櫻田 喬雄、櫻本 一夫、佐々木 隆博、澤田 周作、塩原 亮一、清水 武彦、東海林 裕一、白川 正広、杉原 豊、杉本 誠、 鈴木 将文、須藤 俊幸、高木 純一、高嶋 秀樹、高橋 一智、高橋 聡、高橋 直樹、武石 稔、竹内 知輝、田中 健一、 千歳 範壽、土田 昇、土田 嗣美、徳田 弘、徳山 龍俊、富田 和雄、鳥谷部 祐、長尾 美春、長澤 克己、中田 よしみ、 中野 智仁、成川 薫、西村 丹子、布谷 雅之、根岸 孝行、野村 紀男、乗物 丈巳、橋本 憲吾、林 克己、林 俊文、 引田 直人、藤又 和博、藤本 望、藤原 宏伸、本田 一明、前川 立行、宮本 幸博、茂木 政春、森 浩一、矢野倉 幸夫、 山外 功太郎、山本 和喜、山本 誠二、山本 直樹、八幡 秀胤、横井 新、吉村 一夫、吉行 健、和地 永嗣、櫻井 進一、 首藤 信一、高松 邦吉、堀口 賢一、山本 耕輔 小計：115名
計	141名